



◎シベリウス 交響曲第5番の簡単な分析

<主題以外で特徴的な語法>

- ゆりかごの和声
- 音型の細分化（分解プロセス）
- 平行3度
- 突然の転調
- 音階的和声上行（下行）
- 倚音

<第1楽章>

B.1-35 主部

B.1-17 第1主題部（第1主題と推移）

B.17-35 第2主題部（第2主題と終結部）

B.36-71 確保

B.36-51 第1主題の確保（第1主題と推移）

B.52-71 第2主題の確保（第2主題と終結部）

B.72-105 展開部

B.72-90 第2主題の変形によるフーガと解体、第2主題によるモノローグ

B.90-105 第2主題による展開

B.106-586 再現的部分とスケルツォとトリオ（218～）

B.106-113 第1主題の再現

B.114-141 第1主題の変形によるスケルツォの開始

B.142-217 第1主題の変形によるスケルツォの展開

B.218-257 トリオの開始

B.258-273 トリオ主題による展開

B.274-321 第2主題の展開

B.322-454 トリオ主題の展開と解体

B.455-496 第1主題の闖入、終結部モチーフなどによる展開

B.497-586 コーダ

もともとは独立した2つの楽章（モデラート楽章とスケルツォ楽章）で、それを1つの楽章に改訂したのが、この第1楽章。そのこともあって、独特の複雑な形式になっています。後半のスケルツォ部分も、前半部分と共通の主題を使うなど完全に融合されて組み立てられており、もともと別の楽章だったことを感

